

# 人権研修・講演の講師派遣のご案内

京都部落問題研究資料センターでは、人権研修や人権講演の講師の派遣を行っています。研修・講演内容は主に三つ。以下のテーマで実施しています。

## ■同和研修 『部落差別の現状と課題 ―今 教育現場に求められること―』

※テーマには『教育現場』とありますが、「他の現場」と読み替えることができます。

## ■同和研修 『京都歴史探訪 ―被差別民衆の足跡をたどる―』

※小中学校の歴史の教科書に登場する「京都の被差別民衆」の息遣いを紹介。

## ■人権研修 『教育のセーフティネットについて考える ―自主夜間学校の取組から―』

※自主夜間学校「いいあす京都」の理念や開校の経緯、生徒さんの声などから学びます。

## 〈受講者の声〉

◇これまでに受けた研修とはまるで違いました。同和研修なのに身構えることなく、導入から知らぬ間に引き込まれました。とても分かりやすく心に響きました。時間がとっても短く感じました。

◇部落差別はなくなったという人が私の周りにもいる。もう昔のことだという人もいる。しかし、それ違うということに気づかされた。今日の研修を受けて、現在も残っている差別に自分が目を向けていないだけだと気づいた。新たな発見ができたように思う。

◇講師は「差別はいけない」みたいなことは一度も言っていないのに、なぜだかそういう思いにさせられた。教えられたというより、気づかされたという感じがした。

◇教科書にこれほど被差別の歴史が載っているとは知りませんでした。そして、京都のことがこんなに載っているということにも知りませんでした。同和問題は今も昔も身近な問題なんだなと思いました。これからはもっと深く物事を見ていきたいです。

◇身近な例から講演は始まった。こんなにたくさん「学び直し」を必要としている人がいるとは知らなかった。一心に「学び直し」をする生徒さんの姿に感動した。

◇自主夜間学校のことは全く知らなかった。これまで学ぶことができなかつた人たちが学べる場ができてよかったと思う。自分もできる協力をしたい。

## 〈講師プロフィール〉

川端 宏幸（かわばた ひろゆき）

京都部落問題研究資料センター職員 / 自主夜間学校「いいあす京都」代表

1989年4月 京都市北区の千本部落を校区に含む京都市立嘉楽中学校に新規採用。15年間勤務。

2004年4月 同、京都市立鷹峯小学校に異動。8年間勤務

（千本部落を校区に含む小・中学校に23年間勤務。地对財特法の経過措置期間の5年間、同和主任として同和教育の推進に務める。）

2017年4月 京都市に唯一の夜間中学校である京都市立洛友中学校に教頭として着任。

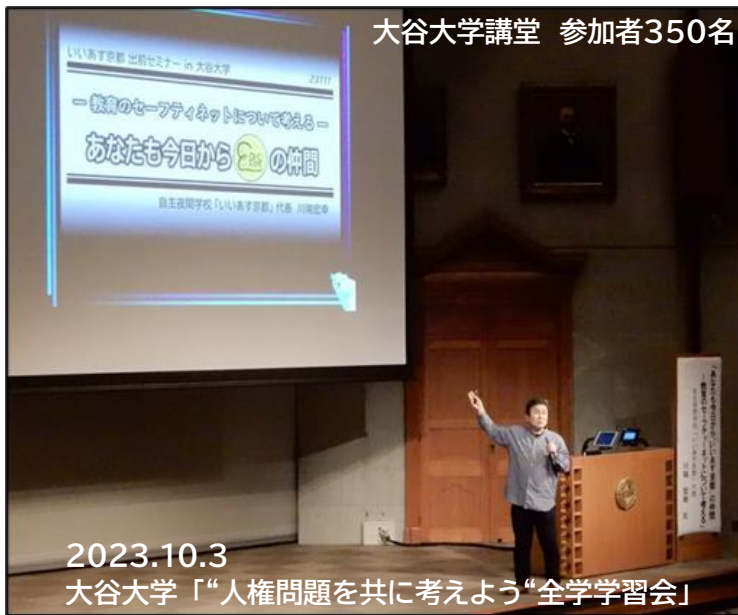
2022年3月 京都市立洛友中学校を定年退職。

2022年4月 京都部落問題研究資料センターに勤務

2023年5月 自主夜間学校「いいあす京都」を開校

■教諭の頃より全人・同教、全外教をはじめ多くの研究集会で実践発表。同和教育の講演多数。

■現在は多くの大学で自主夜間学校関連の講演会を実施。また各地で同和教育の講演会開催。



## 〈講演申し込み・問い合わせ〉

京都部落問題研究資料センターまで 電話（075-415-1032）か  
メール（info@buraku-shiryo-kyoto.com）までお申し込みください。  
また質問等がありましたらご遠慮なくご連絡ください。



京都部落問題研究  
資料センターHP

自主夜間学校  
「いいあす京都 HP」



KBS 京都テレビ  
「きょうと Days」

読売テレビ  
「かんさい情報ネット ten.」



朝日新聞  
2023.6.26

産経新聞  
2023. 6. 5



産経新聞  
2025. 1. 30